

“全自動”の常識を覆す水道直結の全自動排水とリアルタイムモップ洗浄機能を搭載したロボット掃除機「SwitchBot S10」とあらゆるデバイスをひとつにまとめる物理リモコンの販売を開始

世界の最新IoTプロダクトやスマート家電を取りそろえるSB C&S株式会社は、SWITCHBOT株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役：コネリー・リー）が手掛ける、スマートホームを身近なものにするブランド「SwitchBot（スイッチボット）」から、“全自動”の常識を覆す水道直結の全自動排水とリアルタイムモップ洗浄機能を搭載したロボット掃除機「SwitchBot S10（エステン）」を2024年5月15日から、あらゆるデバイスをひとつにまとめる物理リモコン「SwitchBot 学習リモコン」を2024年5月21日（予定）から、トレテク！ソフトバンクセレクション、Yahoo!ショッピング、楽天市場、全国の手家電量販店（一部店舗を除く）で順次販売を開始します。販売の開始に先立ち、各店舗では本日から順次予約の受け付けを開始します。



【SwitchBot S10】

製品紹介動画

<https://youtu.be/yal9rHhJpMQ>

“全自動”を追求した革新的なロボット掃除機「SwitchBot S10」は、ロボット掃除機の常識を覆すデュ

アルステーション設計で、洗濯機の水道に直結するだけで全自動給水・排水を実現します。さらに、SwitchBot 独自の RinseSync (リンスシンク) テクノロジーにより、水拭きと同時にモップ洗浄を行えるため、効率よく最後までキレイなモップで掃除をすることができます。ロボット掃除機本体も、高精度のレーダーナビゲーションと AI アルゴリズムにより、障害物回避性能が向上。さらに、SwitchBot 史上最強の 6,500Pa の吸引力でしっかりと吸引掃除を行います。



洗濯機の水道に直結するだけで全自動給水・排水を実現したデュアルステーション設計

「SwitchBot S10」では、従来の「ゴミ収集ステーション」の他に「水交換ステーション」を設けることで、自身でロボット掃除機やドックへ給水を行ったり、汚水を捨てたりする手間が省けます。「水交換ステーション」は、高さ約 10cm とコンパクトで、洗濯機や洗面台、シンクの周辺などに場所を選ばずに設置でき、同梱の配管付属品を使用して簡単に上下水道に取り付けができます。「水交換ステーション」への給電は、ロボット掃除機本体から行うため、コンセントが不要です。さらに、同じくコンセント不要の外付け水タンク（別売り）を利用すれば、どこでもお好きな場所に置いてご使用いただけます。「SwitchBot S10」は、まるで洗濯機のように全自動で給水・排水・洗剤の投入を行います。



水拭きと同時にモップ洗浄を行う SwitchBot 独自の RinseSync テクノロジー

従来のロボット掃除機のように、「水拭きをすればするほどモップが汚れていく」という悩みにアプローチし、「SwitchBot S10」は、水拭きしながらモップのセルフクリーニングを行います。そのため、モップがずっと洗い立ての状態ですべて最後までしっかりと清掃ができます。また、噴射や加圧、拭く、水切り、回収の 5 つのステップを繰り返すことで、しつこい汚れも徹底的に掃除します。



ロボット掃除機が加湿器と連動！SwitchBotのスマートホームエコシステム

SwitchBotのスマートホームエコシステムの一部として、「SwitchBot ハブ 2」または「SwitchBot ハブミニ」をつなぐことでMatter（マター）に対応し、ホームアプリから一括管理が可能です。そして、掃除機でありながら、その機能は掃除だけにとどまらず、水道からくみ取った水をロボット掃除機を介して「SwitchBot 気化式加湿器 Plus」への給水を実現しています。

主な特長

- ・ 洗濯機の水道に直結するだけで全自動給水・排水を実現した革新的なデュアルステーション設計
- ・ 水拭きと同時にモップ洗浄を行う SwitchBot 独自の RinseSync テクノロジー
- ・ SwitchBot 史上最強の 6,500Pa の吸引力
- ・ 高精度のレーダーナビゲーションと AI アルゴリズムにより障害物回避性能が向上
- ・ ロボット掃除機が加湿器と連動する SwitchBot のスマートホームエコシステム
- ・ ゴミは「ゴミ収集ステーション」で自動収集し、ゴミ捨ては約 70 日間^{※1}に一度
- ・ カビ繁殖と悪臭を抑える熱風乾燥をタスク終了の度に実行
- ・ 専用アプリで自在に操作しながら SwitchBot デバイスとも連携可能
- ・ Alexa や Google Assistant、Siri、IFTTT、SmartThings などの音声アシスタントに対応
- ・ 睡眠や映画鑑賞、テレワークを邪魔しない高い静音性

※1 使用環境や頻度により異なります。

価格

「SwitchBot S10」「SwitchBot S10 用外付け水タンク」ともにオープン価格

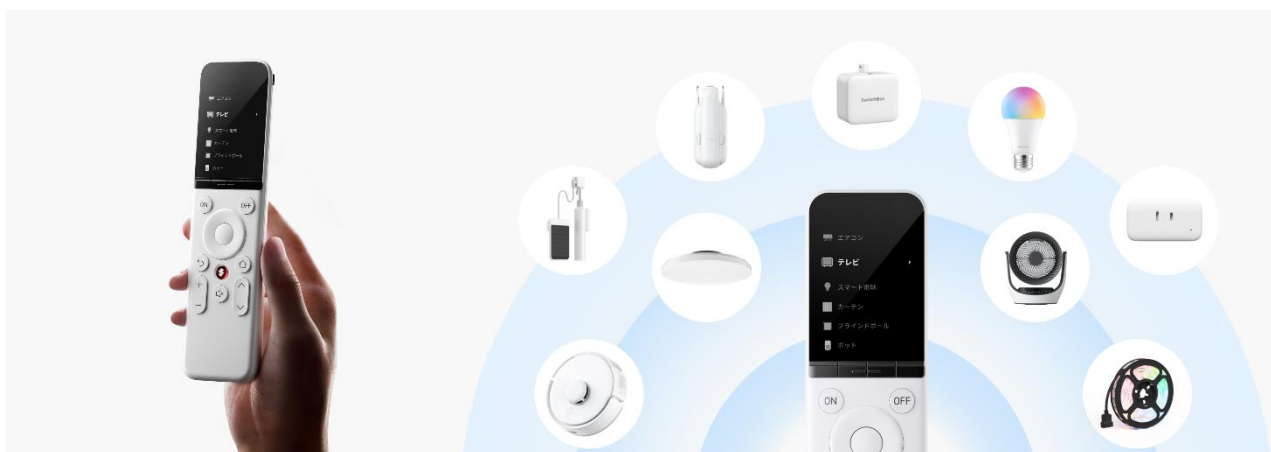
製品の詳細

- ・ **SwitchBot S10**
<https://shop.softbankselection.jp/item/0810150540697.html>
- ・ **SwitchBot S10 用外付け水タンク**
<https://shop.softbankselection.jp/item/0810150540703.html>

【SwitchBot 学習リモコン】

「SwitchBot 学習リモコン」は、家電と SwitchBot デバイスをひとつにまとめる物理リモコンです。「アプリ操作ではなく、物理リモコンで操作したいけれどリモコンを減らしたい」という方や「家の中で不特定多数の方が家電操作をする」という方にお勧めのスマートリモコンです。アプリ操作のようにシーンをカスタマイズ設定して、複数のデバイスをワンタッチで操作することができます。SwitchBot のハブ製品である「SwitchBot ハブ 2」または「SwitchBot ハブミニ」と連携することで、Matter にも対応します。

製品画像



価格

オープン価格

製品の詳細

<https://shop.softbankselection.jp/item/0810150540734.html>

【製品に関するお問い合わせ】

SwitchBot お問い合わせ用サイト

<https://www.switchbot.jp/pages/contact>

SwitchBot について

SwitchBot は、世界 100 以上の国や地域に向け IoT スマートホームデバイスの企画や製造、販売を行うスマートホームブランドです。従来の家具や家電を後付けでスマート化できる便利性や自由に組み合わせられる拡張性の高さが評価され、日本国内のユーザーは 100 万世帯、販売累計台数は 500 万台を突破しています。また、「SwitchBot ボット」「SwitchBot プラグミニ」「SwitchBot カーテン」「SwitchBot ハブミニ」「SwitchBot ロック」の計 5 製品が「IoT デバイス No.1^{※2}」を獲得。さらに、「SwitchBot プラグミニ」「SwitchBot カーテン」「SwitchBot ハブミニ」「SwitchBot ロック」は、それぞれ IoT デバイス各カテゴリで売上 No.1^{※2} を獲得しています。SwitchBot は、先端技術の開発や改善に取り組むことで、手軽にスマートホームが実現できるクリエイティブな製品を提供しています。

※2 2022 年 11 月 家電 Biz 調べ。

- SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
- その他、このお知らせに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。